

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	企画調整室長 港営部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	12 快適な港湾空間を形成する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者、就業者
	サービスの対象物(何を)	緑地、水辺空間、就業空間及び港湾景観
	意図(どういう状態にしたいのか)	快適に感じられる場となる
内容	これまで名古屋港では人々に親しまれる施設を各種整備してきましたが、さらに水辺に訪れる人々に安らぎや潤いを感じることが出来る緑地や遊歩道、都心部と港をつなぐ海上ネットワークの充実、景観資源を活かした魅力ある視点場の確保などによって、港らしさが感じられるより快適な空間を提供していきます。	
	目標	臨港緑地利用者の満足度向上を高め、利用者の増加を図ります。

成果指標	実績等	年度	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	目標	指標の説明(式)
			実績	実績	実績	実績	実績	実績		
緑地(ガーデンふ頭臨港緑園、富浜緑地、中川運河緑地、潮見ふ頭緑地)へ訪問した事のある人の割合	実績	%	23.1	-	34.3	33.3	26.9	23.3	前年比増	・環境デーナゴヤ、メッセナゴヤ等の環境イベントで実施したアンケート結果です。 ・実績値は、4か所の緑地への訪問割合を平均したものです。 ・平成21年は未実施です。
	達成率	%	113.8	-	148.5	97.1	80.8	86.6		
港湾福利厚生施設利用者(福祉センター、岸壁休憩所)	実績	万人	117	99	104	100	92	90	140	平成25年度目標
	達成率	%	83.6	70.7	74.3	71.4	65.7	64.3		

2. Do(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度～平成25年度						事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み			平成25年度までの状況※1	平成26年度以降の取組の方向性※2	成果※3	コスト※4	備考(判断の理由等)
					上段:指標達成状況												
	(企画調整室)計画担当	中川運河再生計画の策定(個12事01)	都心に近接したロケーションや周辺の開発動向を鑑み、利用形態の見直しを図り、水域の利活用に係る幅広い考え方や、必要となる施設などについて関係機関等と検討・調整を行います。	策定進捗率(%)	26.0	30.0	34.0	38.0	50.0		35,995	100 累計(H25)	完了				目標を達成したため。
○	(企画調整室)事業担当	中川運河緑地(堀止地区)整備事業【本掲】(個12事02)	地域環境の向上を図るため、ささしまライブ24と連携を図りながら中川運河(堀止地区)の緑地を整備します。規模:1.1ha【再掲】個17事03	事業進捗率(%)	0.8	2.1	6.4	11.9	34.2	52.0	467,980	100 累計(H28)	順調	継続	➡	➡	当該緑地は、周辺開発であるささしまライブ24の進展に合わせて事業進捗を図る必要があるため。
	(企画調整室)事業担当	金城ふ頭中央緑地整備の事業化(個12事03)	国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)	1						0	1 (H20)	完了				目標を達成したため。
	(港営部)港営課	港湾福利厚生施設の管理(個12事04)	港湾福利厚生施設となる港湾労働者福祉センター、岸壁休憩所は本組合が所有していますが、運営は(公財)名古屋港湾福利厚生協会に委託しています。運営方法、施設の修繕、必要棟数等については、同協会及び関係者と調整し、快適な港湾労働環境の形成を図ります。	港湾福利厚生施設の利用者数(万人)	117	99	104	100	92	90	49,265	140 (継続)	順調	継続	➡	➡	港湾管理者の責務として、港湾労働者の労働環境を良好に確保する必要があるため。
	(企画調整室)計画担当	名古屋港景観基本計画の見直し(個12事05)	名古屋港景観基本計画を策定してから、約10年が経過したため、検討委員会を組織し、同計画の点検・検証を行います。	名古屋港景観基本計画第2版の策定(式)	1						0	100 (H20)	完了				目標を達成したため。
	(企画調整室)事業担当	金城ふ頭中央緑地整備事業【本掲】(個12事10)	地域環境の向上を図るため、金城ふ頭中央緑地の整備を行います。規模:1.1ha【再掲】個17事10	事業進捗率(累計)(%)		8.3	32.5	100.0			88,631	100 累計(H23)	完了				目標を達成したため。
	(企画調整室)環境担当	名古屋港景観基本計画の推進(個12事11)	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。	景観アドバイザー制度の相談件数(件)	14	14	8	11	11	4	31,453	15 (継続)	順調	継続	➡	➡	カラー計画に基づく審査案件の実現に努力しつつ、コスト維持に努めていくため。
	(企画調整室)環境担当	名古屋港跳上橋の保存・活用方法の検討(個12事12)	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている、名古屋港跳上橋の保存・活用について検討するものです。	保存・活用方法作成工程の進捗率(%)		33.0	50.0	66.7	100.0		23,076	100 累計(H24)	完了				目標を達成したため。
○	(企画調整室)都市基盤担当	中川運河再生計画の推進(個12事13)	市民・企業・学校・行政の多様な主体が行う各事業の調整・連携と、運河再生に向けた取組みの進行管理を行う組織として、中川運河再生推進会議を設置し、各事業主体間の調整・連携を行います。	計画における施策数(施策)						1	4,011	8 累計(H29)	順調	継続	➡	➡	中川運河の良好な水辺空間などの再生を図っていくことは重要であるため。
	(企画調整室)環境担当	名古屋港跳上橋整備事業(個12事14)	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている(国登録有形文化財、近代化産業遺産)、名古屋港跳上橋の保存を図るため、塗装、鋼材補強及び基礎コンクリート補強等を行うものです。	保存を図るための整備進捗状況(工程)						2	38,024	3 累計(H26)	順調	継続	➡	➡	歴史資源である跳上橋の保存を図る必要があるため。
施策コスト(事業費合計)					44,754	32,793	75,086	132,730	197,266	201,277	738,435						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%以上の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

「継続」、「統合」、「延伸」の事務事業のみ※3、※4を記入

※3

記入	内容
拡大	何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
拡大	成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)	
成果※3	コスト※4	・中川運河の緑地整備を着実に進めるなど、快適な港湾空間の形成の取組は継続する必要があるため。
次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)		
<p>・中川運河再生計画の推進を図るため、推進会議で各事業の調整・連携と運河再生に向けた取組みの進行管理を行っていきます。</p> <p>・中川運河の新たな土地利用の展開を図るため、「土地貸付ガイドライン」を策定するとともに水上交通の誘導に向けた取組を行います。</p> <p>・堀止地区の緑地については、さらに緑地や護岸などのハード整備や水質改善に必要な取組を進め、ささしまライブ24地区と一体的利用を図ります。</p> <p>・名古屋港跳上橋の保存については、平成26年度完成を目指し、整備を進めます。</p> <p>・西部地区における福利厚生施設の整備については、(公財)名古屋港福利厚生協会と連携を図りながら進めていきます。</p>		

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
<p>・社会情勢の変化や新たな県民・市民のニーズに応えるため、名古屋市とともに中川運河再生計画を平成24年度に策定しました。</p> <p>・平成25年度には、中川運河再生推進会議や運河再生シンポジウムを開催するとともに、市民を対象とした体験乗船も開催しました。</p> <p>・中川運河の堀止地区については、計画通りに護岸などの整備を進めております。</p> <p>・金城ふ頭地中央緑地1.1haにつきましては、国から事業化が認められ、平成21年度に着手し、平成23年度に整備完了しました。</p> <p>・貴重な景観資源である名古屋港跳上橋を保存するため、平成25年度から跳上橋の保存工事を行っています。</p>	<p>・中川運河再生計画の着実な実現を図るためには、推進体制の構築や新たな土地利用の展開が必要です。</p> <p>・堀止地区の整備はささしまライブ24の進展に合わせ、遅滞なく整備を進める必要があります。</p> <p>・西部地区において港湾福利厚生施設が不足しているため、港湾労働者福祉センター等の施設整備を行う必要があります。</p>
現政策体系における事務事業の適正性	
・事務事業構成は妥当です。	